

第3章 高齢者を取り巻く現状と課題

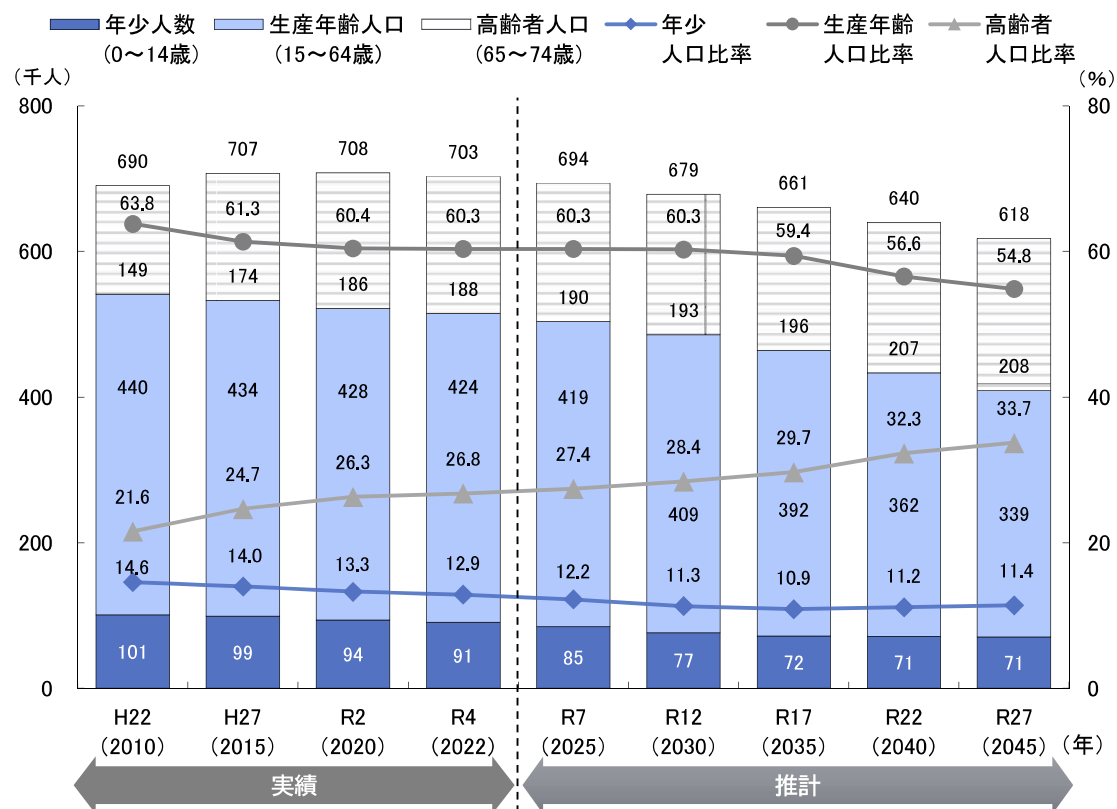
1 岡山市の高齢者の現状と今後の見込み

(1) 岡山市の総人口の動向と将来推計人口

岡山市の総人口は、令和27年（2045年）には約61万8千人となり、令和4年（2022年）時点の約70万3千人より、約8万5千人減少する見込みです。

高齢者人口の増加が続く一方で、介護や看護等の担い手ともなる、年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。

【住民基本台帳に基づく岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口】

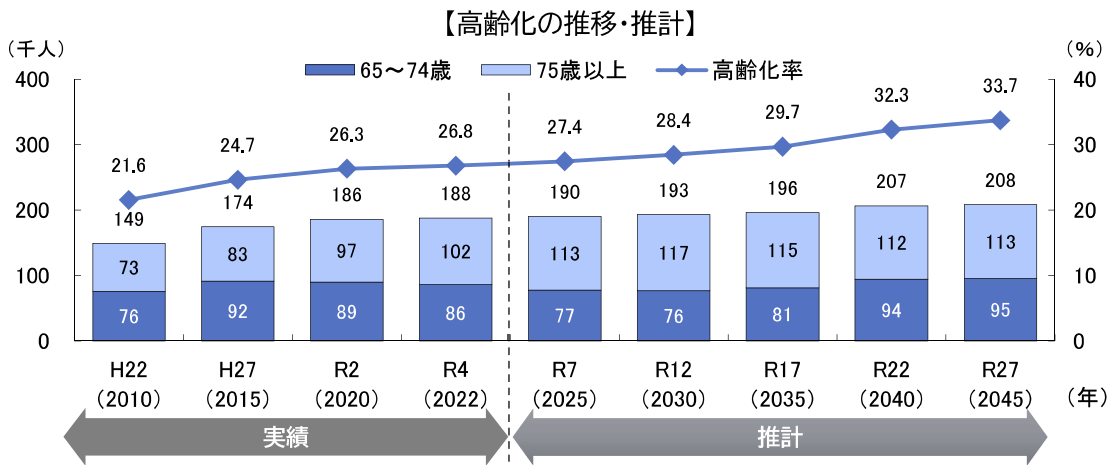


出典：令和4年（2022年）までは住民基本台帳人口、令和7年（2025年）以降は岡山市独自推計

※四捨五入の関係で総数が一致しない場合があります（以下の各データも同様）

(2) 高齢者人口の動向と今後の見通し

岡山市の高齢者人口は、令和4年（2022年）の約18万8千人から、令和7年（2025年）には約19万人となり、高齢化率は、26.8%から27.4%まで上昇する見込みです。75歳以上の後期高齢者数は、令和2年（2020年）には65歳から74歳までの前期高齢者数を逆転しており、令和7年（2025年）には約11万3千人と大幅に増加する見込みです。

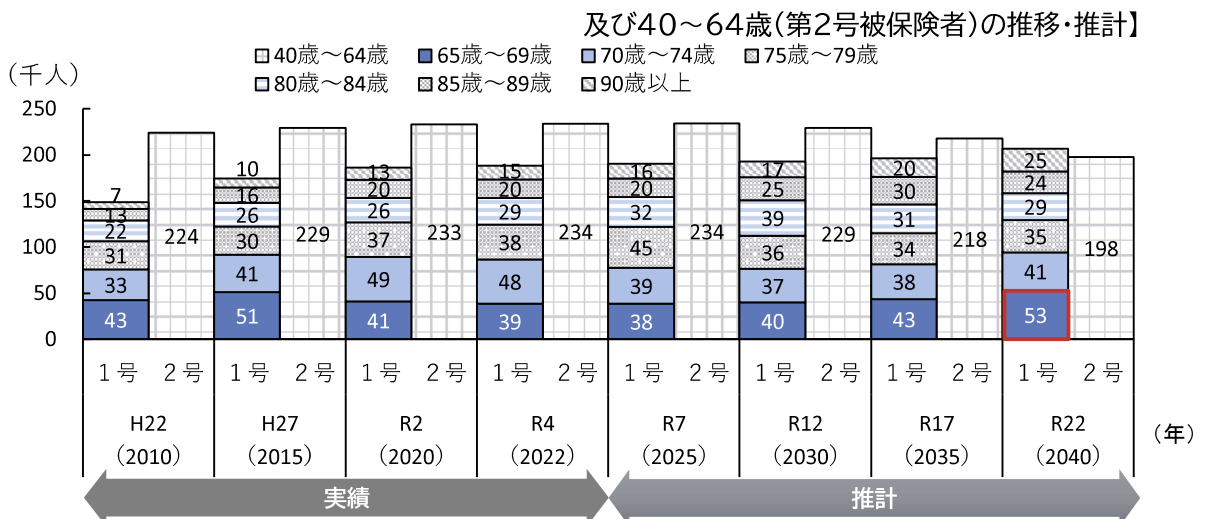


出典：令和4年（2022年）までは住民基本台帳人口、令和7年（2025年）以降は岡山市独自推計
※四捨五入の関係で総数と一致しないことがある。

75歳以上の年齢5歳階級別人口の見通しでは、令和7年（2025年）では、団塊の世代が属する階級が最も多くなっています。

40から64歳までの人口は、令和7年（2025年）をピークに減少しはじめ、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年（2040年）には大きく減少する見込みです。

【65歳以上（第1号被保険者）の年齢5歳階級別人口

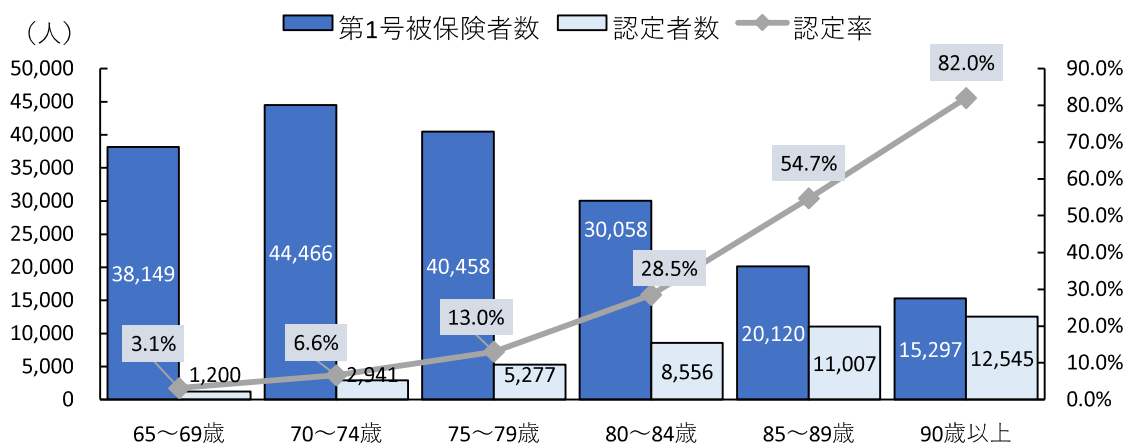


出典：令和4年（2022年）までは住民基本台帳人口、令和7年（2025年）以降は岡山市独自推計

(3) 高齢者の年齢階級別の要介護(要支援)認定率

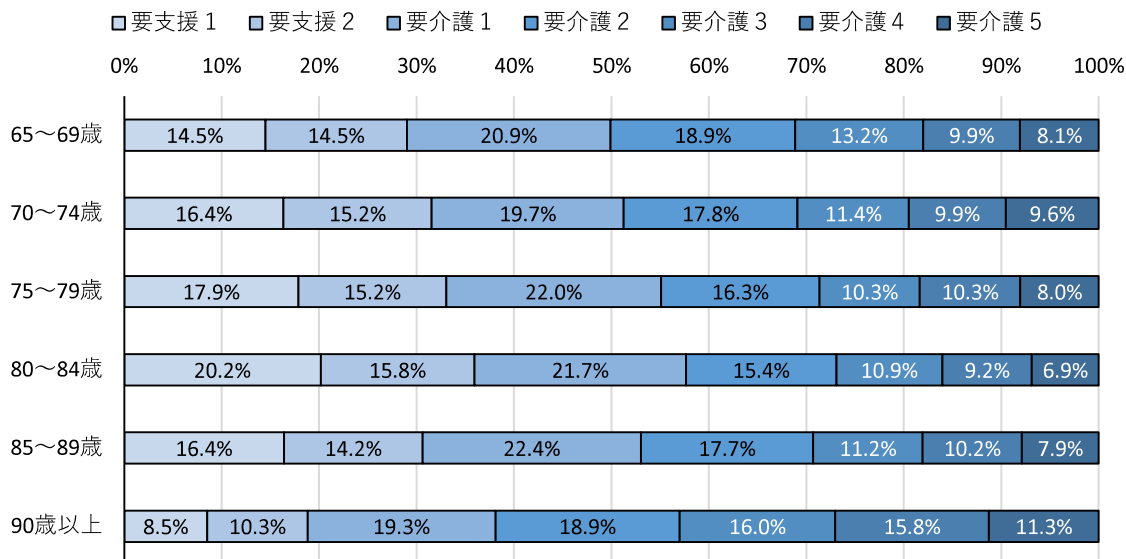
要介護(要支援)認定率は年齢を重ねるほど高くなり、「70～74歳」では、6.5%にとどまっていますが、「75～79歳」では13.6%、「80～84歳」では28.7%、「85～89歳」では55.5%と大きく上昇していきます。介護度は、「90歳～」で中・重度の占める比率が高くなります。

【年齢階級別の要介護(要支援)認定率】



出典：第1号被保険者数は岡山市統計、認定者数は岡山市介護保険事業状況報告(令和5年(2023年)9月分)

【65歳以上認定者の要介護度割合(年齢5歳階級別)】



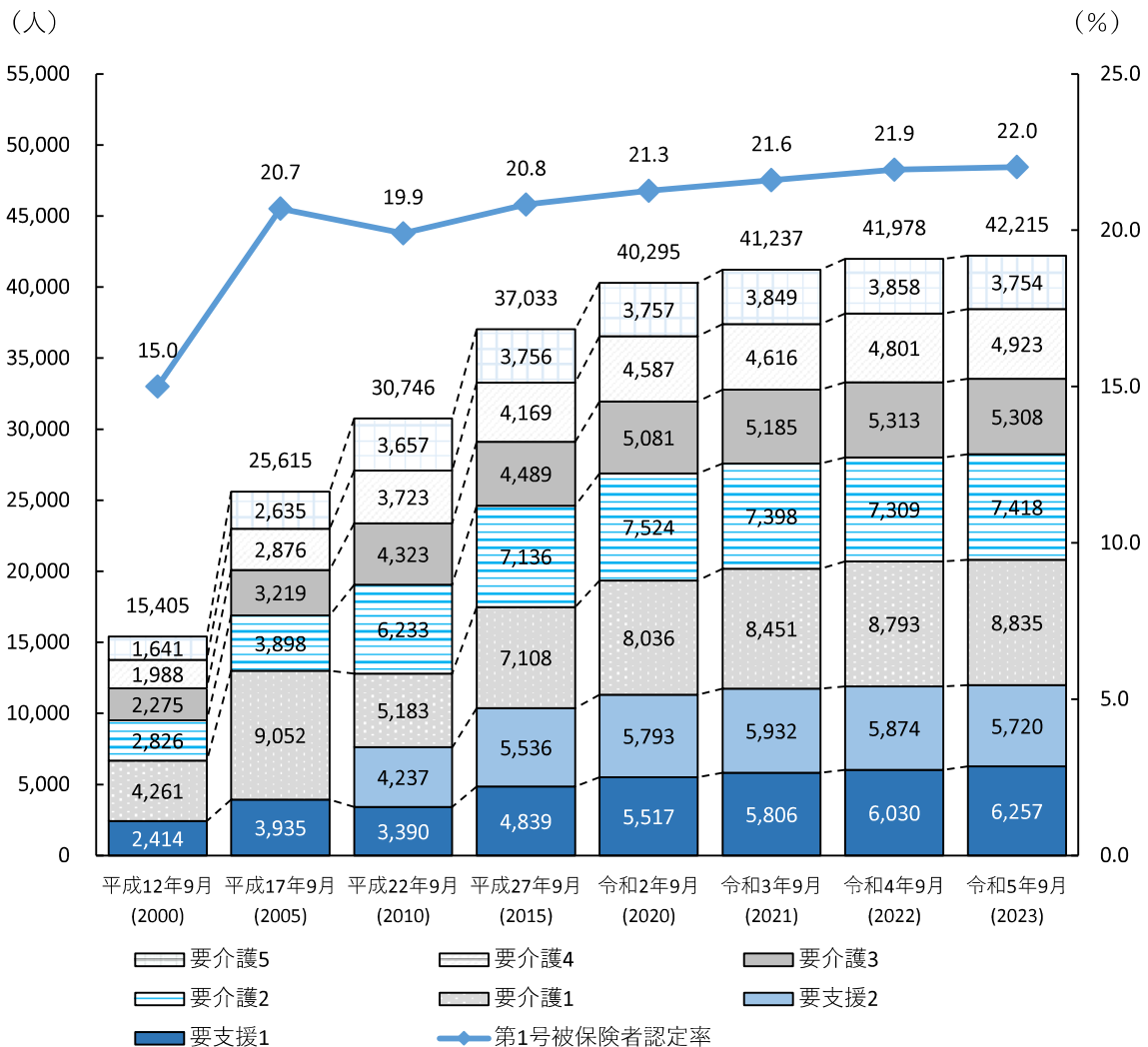
出典：岡山市介護保険事業状況報告(令和5年(2023年)9月分)

(4) 要介護(要支援)認定者・認定率の推移

岡山市の要介護（要支援）認定者数は、年々増加しており、令和5年（2023年）で42,215人となっており、平成12年（2000年）の15,405人から約2万7千人の増加となっています。

要介護1・2の人が最も多く、要支援1・2及び要介護1までの軽度の要介護（要支援）認定者も年々増加しています。

【要介護(要支援)認定者・認定率の推移】



出典：岡山市介護保険事業状況報告(各年9月分)

※第1号被保険者認定率は、第1号被保険者における認定者数を第1号被保険者数で除したものの

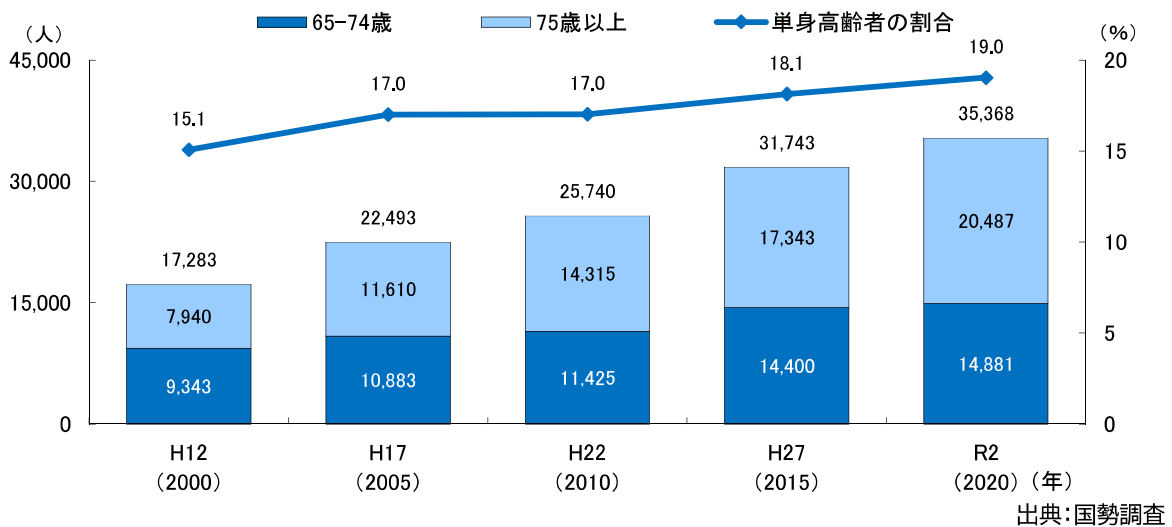
※要介護(要支援)認定者には第2号被保険者数を含む。

(5) 高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯の状況

岡山市の高齢者単身世帯は、令和2年（2020年）時点で35,368人と平成12年（2000年）からの20年間で約2倍に増加し、高齢者に占める割合も15.1%から19.0%になっています。

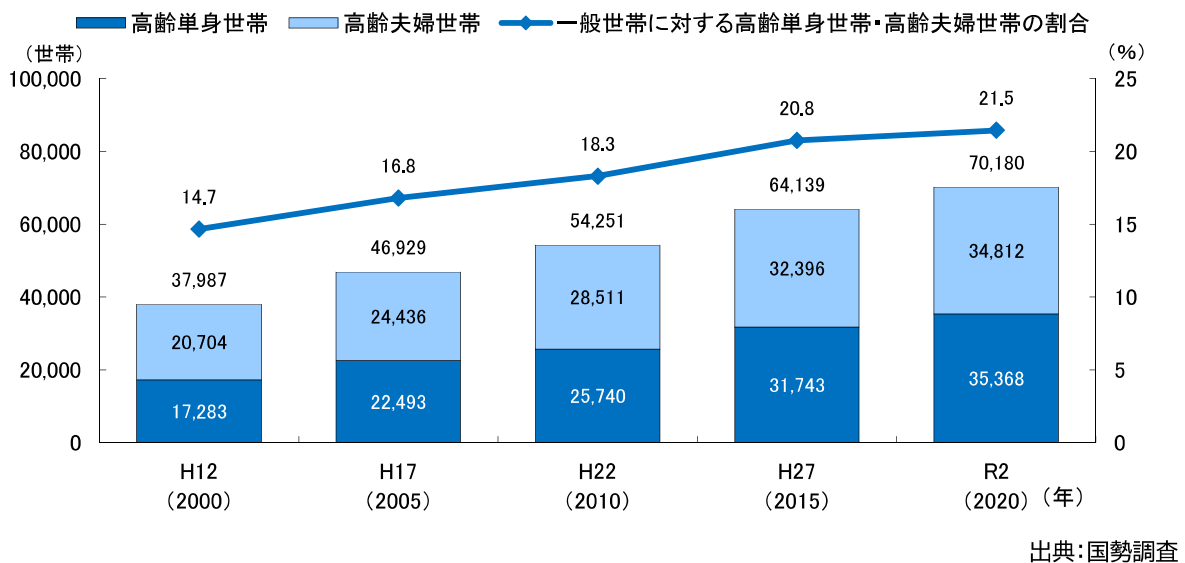
特に、75歳以上の高齢者単身世帯は令和2年（2020年）に20,487人となり、平成12年（2000年）からの20年間で約2.6倍に増加しています。

【高齢者単身世帯数の推移】



高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯は、令和2年（2020年）時点で合わせて70,180世帯であり、平成12年（2000年）からの20年間で約1.8倍に増加しています。

【高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯の推移】



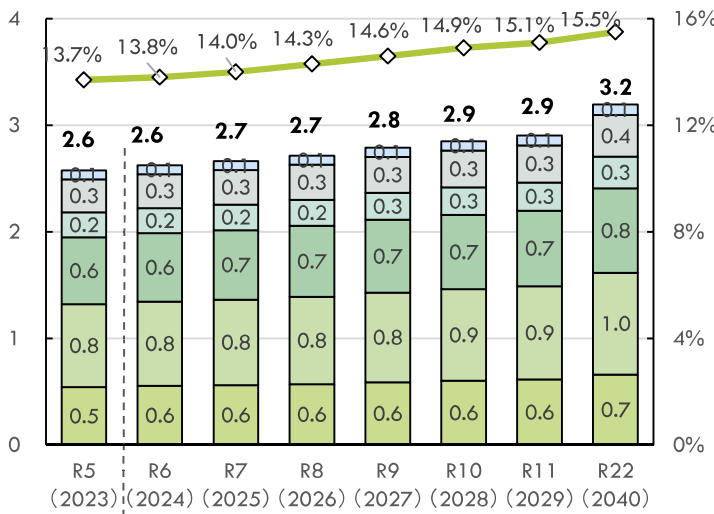
(6) 認知症高齢者の状況

岡山市の認知症高齢者は、令和5年（2023年）時点で約2.6万人（全高齢者の約13.7%）であり、令和7年（2025年）には約2.7万人（全高齢者の約14.3%）に達する見込みです。

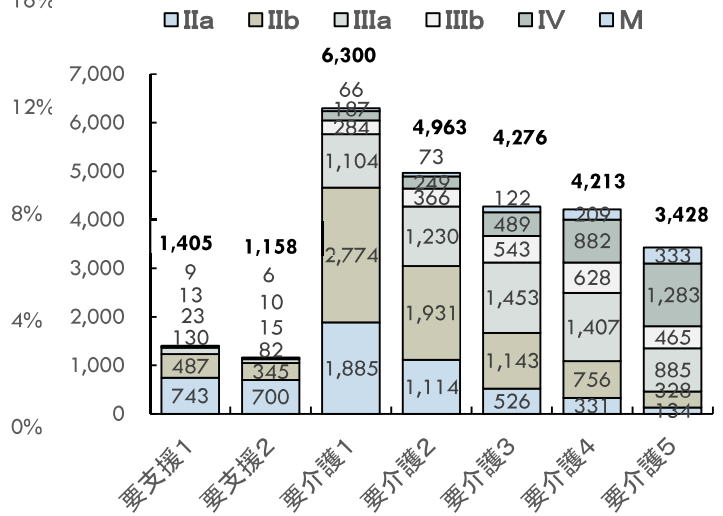
要介護度別で見ると、認知症高齢者数は要介護Ⅰの人が最も多く、また、要介護度が上がるにつれ、中・重度の認知症の人の占める割合が高くなっています。

認知症有病率は加齢とともに上昇し、「75～79歳」からは、女性の認知症有病率が男性を上回り、80歳以上ではその差は大きくなっていきます。

【認知症高齢者数推計】

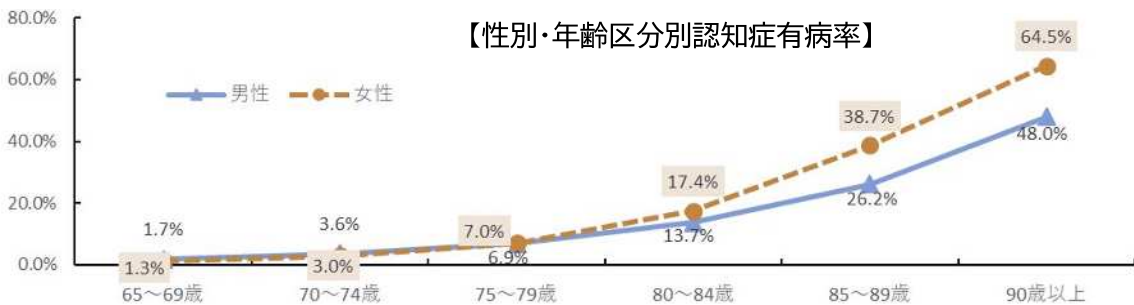


【要介護度別認知症高齢者数】



IIa IIb IIIa IIIb IV M 全高齢者に占める割合

【性別・年齢区分別認知症有病率】



出典:岡山市介護認定データ(令和5年(2023年)9月末)をもとに推計

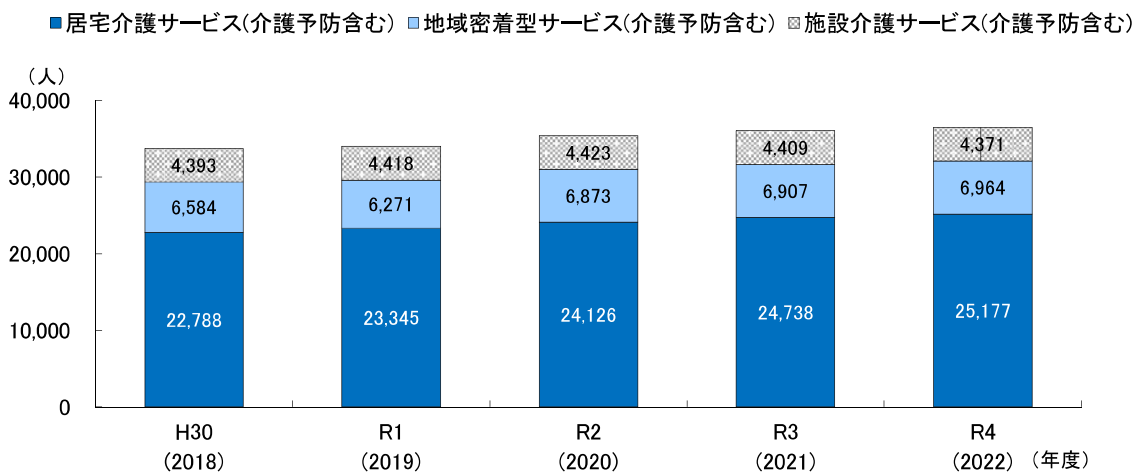
認知症高齢者の日常生活自立度	
Ⅱ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
Ⅱa	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる(道に迷うなど)
Ⅱb	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる(1人で留守番ができないなど)
Ⅲ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする(着替え、排便排尿、食事が上手にできないなど)
Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅲb	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅳ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする(遷延性意識障害(重度の昏睡状態)等あり)

2 介護サービス等の状況

(1) 介護サービス利用状況

居宅介護サービスの利用者数は、増加傾向で推移しており、地域密着型サービスの利用者数は、令和元年（2019年）に低下していますが、令和2年（2020年）以降増加傾向で推移しています。施設介護サービスの利用者数については、ほぼ横ばいとなっています。

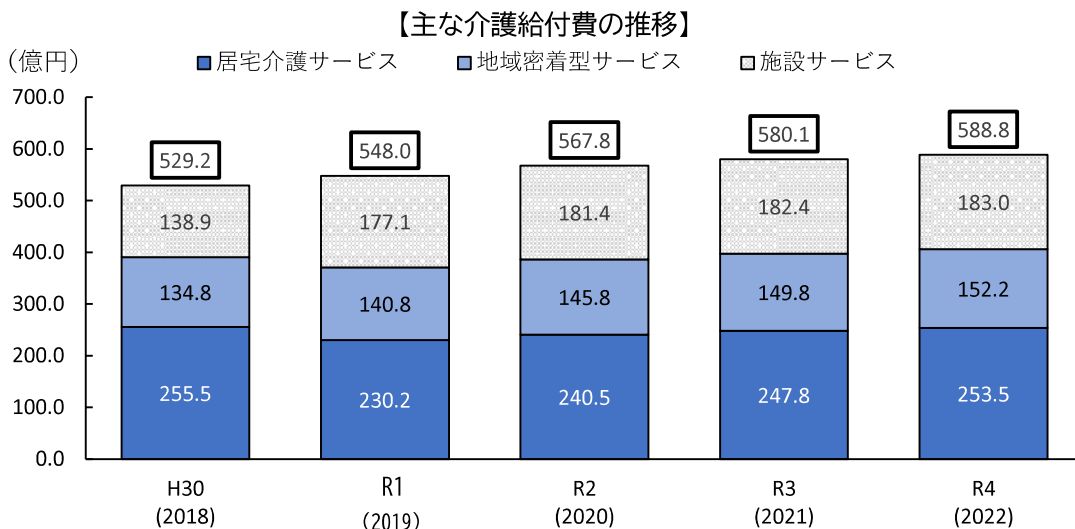
【介護サービス利用者の推移】



出典：岡山市介護保険事業状況報告(各年9月利用分)

(2) 主な介護給付費の推移

介護給付費は、いずれのサービスも増加傾向で推移しています。



出典：岡山市決算資料

(3) サービス資源の推移

令和2年（2020年）から令和5年（2023年）にかけて、岡山市内の介護サービスは以下のとおり推移しています。

【サービス別事業所数】

サービス名（単位：事業所、人、戸）		第7期 (R2.9末)	第8期 (R5.9末)	増減 (第8期-第7期)
在宅系サービス	訪問介護	201	217	16
	訪問入浴介護	5	7	2
	訪問看護	76	111	35
	訪問リハビリテーション	4	8	4
	通所介護	157	163	6
	通所リハビリテーション	69	67	▲2
	短期入所生活介護	73	76	3
	短期入所療養介護	32	31	▲1
	福祉用具貸与	34	38	4
	特定福祉用具販売	34	37	3
	居宅介護支援	231	235	4
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	11	14	3
	夜間対応型訪問介護	0	0	0
	認知症対応型通所介護	18	19	1
	小規模多機能型居宅介護	72	71	▲1
	看護小規模多機能型居宅介護	4	4	0
	地域密着型通所介護	133	130	▲3
施設居住系サービス	介護老人福祉施設	36 (2,348)	36 (2,348)	0 (0)
	介護老人保健施設	25 (2,242)	25 (2,242)	0 (0)
	介護療養病床	2 (17)	1 (11)	▲1 (▲6)
	介護医療院	4 (106)	4 (106)	0 (0)
	特定施設入居者生活介護	48 (2,112)	48 (2,112)	0 (0)
	認知症対応型共同生活介護	115 (1,726)	116 (1,741)	1 (15)
	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	31 (899)	33 (957)	2 (58)
	(参考) サービス付き高齢者向け住宅	64 (2,096)	67 (2,153)	3 (57)

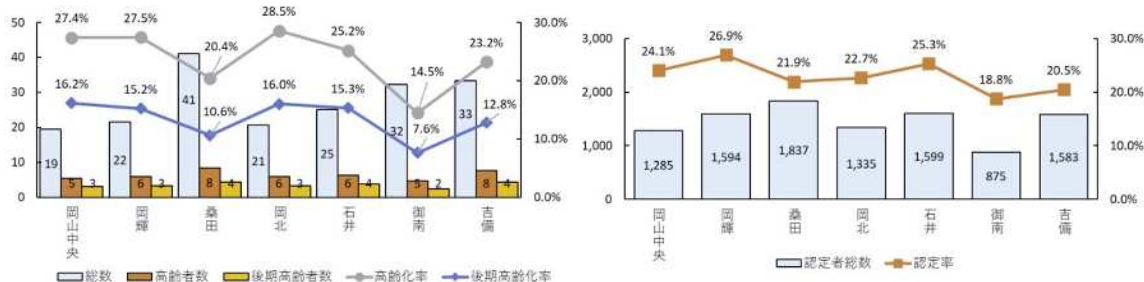
※施設、居住系サービスの()内は定員数(サービス付き高齢者向け住宅は戸数)
 ※「みなし事業所*」は計上していない

3 日常生活圏域別の高齢化等の状況

(1) 北区中央

高齢化率は岡北が28.5%と最も高く、後期高齢化率は岡山中央が16.2%と最も高い。

認定率は岡輝が26.9%と最も高く、次いで石井が高い。御南が18.8%と最も低い。

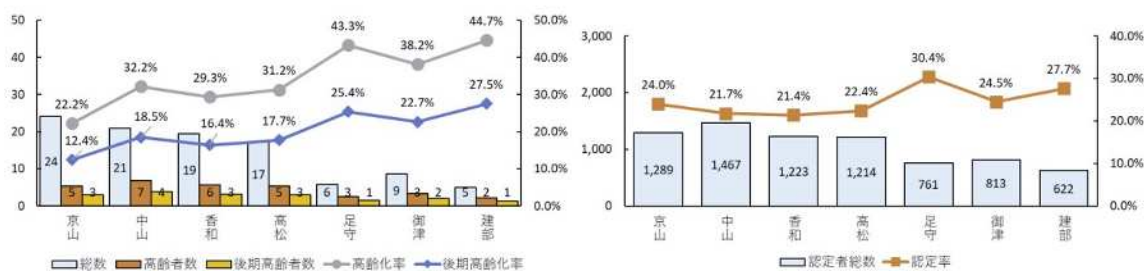


圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)							認定率 (%)	
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		合計
岡山中央	19,478	5,338	27.4%	3,150	16.2%	145	214	310	221	146	148	101	1,285	24.1%
岡輝	21,535	5,915	27.5%	3,281	15.2%	331	191	346	270	164	159	133	1,594	26.9%
桑田	41,032	8,383	20.4%	4,360	10.6%	247	227	414	345	230	210	164	1,837	21.9%
岡北	20,647	5,894	28.5%	3,304	16.0%	149	237	281	232	178	129	129	1,335	22.7%
石井	25,074	6,317	25.2%	3,839	15.3%	223	205	340	309	172	203	147	1,599	25.3%
御南	32,179	4,658	14.5%	2,456	7.6%	126	104	188	164	122	97	74	875	18.8%
吉備	33,287	7,731	23.2%	4,253	12.8%	176	235	327	312	202	180	151	1,583	20.5%
小計	193,232	44,236	22.9%	24,643	12.8%	1,397	1,413	2,206	1,853	1,214	1,126	899	10,108	22.9%

(2) 北区北

高齢化率、後期高齢化率ともに建部が44.7%、27.5%と最も高く、次いで足守、御津が高い。

認定率は足守が30.4%と最も高く、次いで建部、御津が高い。香和が21.4%と最も低い。

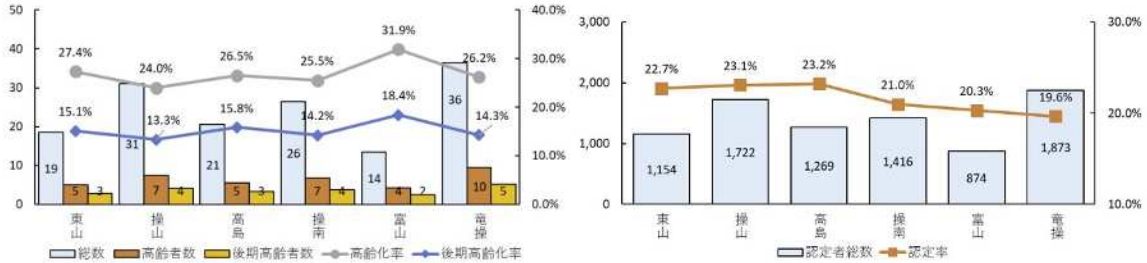


圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)							認定率 (%)	
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		合計
京山	24,163	5,376	22.2%	3,006	12.4%	212	165	284	212	155	164	97	1,289	24.0%
中山	20,982	6,749	32.2%	3,885	18.5%	227	204	315	249	182	172	118	1,467	21.7%
香和	19,493	5,719	29.3%	3,205	16.4%	188	161	247	214	161	160	92	1,223	21.4%
高松	17,323	5,413	31.2%	3,074	17.7%	176	182	265	214	149	140	88	1,214	22.4%
足守	5,781	2,502	43.3%	1,469	25.4%	127	132	156	108	99	81	58	761	30.4%
御津	8,704	3,321	38.2%	1,972	22.7%	76	110	158	165	119	115	70	813	24.5%
建部	5,031	2,248	44.7%	1,384	27.5%	42	81	84	162	107	88	58	622	27.7%
小計	101,477	31,328	30.9%	17,995	17.7%	1,048	1,035	1,509	1,324	972	920	581	7,389	23.6%

(3) 中区

高齢化率、後期高齢化率ともに富山が31.9%、18.4%と最も高く、次いで東山、高島が高い。

認定率は高島が23.2%と最も高い。一方、竜操が19.6%と最も低い。

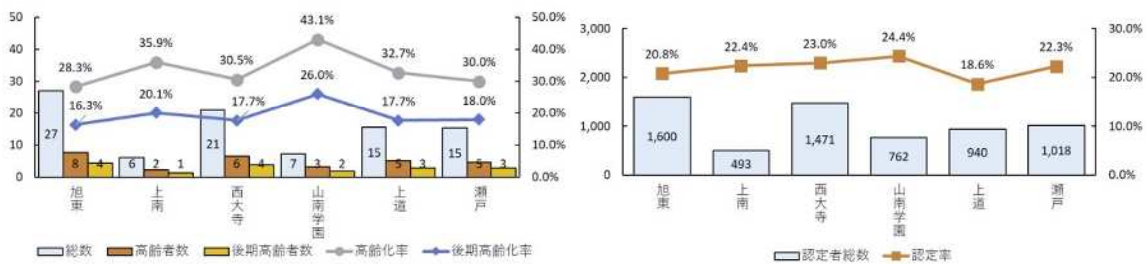


圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)						認定率 (%)		
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5	合計
東山	18,563	5,077	27.4%	2,800	15.1%	183	163	219	210	141	130	108	1,154	22.7%
操山	31,082	7,460	24.0%	4,139	13.3%	267	241	319	296	254	194	151	1,722	23.1%
高島	20,574	5,459	26.5%	3,259	15.8%	217	168	245	207	162	147	123	1,269	23.2%
操南	26,478	6,749	25.5%	3,768	14.2%	211	207	279	237	151	192	139	1,416	21.0%
富山	13,512	4,308	31.9%	2,483	18.4%	142	113	175	142	100	116	86	874	20.3%
竜操	36,381	9,536	26.2%	5,204	14.3%	311	276	356	321	209	212	188	1,873	19.6%
小計	146,590	38,589	26.3%	21,653	14.8%	1,331	1,168	1,593	1,413	1,017	991	795	8,308	21.5%

(4) 東区

高齢化率、後期高齢化率ともに山南学園が43.1%、26.0%と最も高い。一方、旭東が最も低い。

認定率は山南学園が24.4%と最も高く、次いで西大寺、上南が高い。一方、上道が18.6%と最も低い。

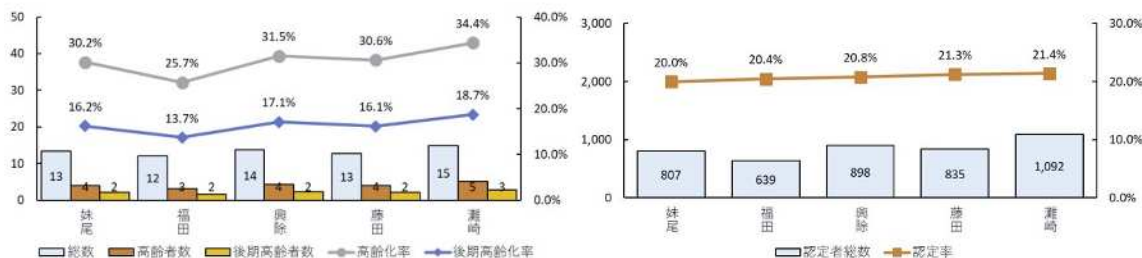


圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)						認定率 (%)		
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5	合計
旭東	27,149	7,684	28.3%	4,438	16.3%	300	224	359	219	181	165	152	1,600	20.8%
上南	6,137	2,204	35.9%	1,232	20.1%	89	66	110	63	64	51	50	493	22.4%
西大寺	20,965	6,404	30.5%	3,701	17.7%	265	171	357	217	170	146	145	1,471	23.0%
山南学園	7,254	3,127	43.1%	1,887	26.0%	110	104	150	136	89	90	83	762	24.4%
上道	15,480	5,056	32.7%	2,740	17.7%	161	128	177	150	112	121	91	940	18.6%
瀬戸	15,230	4,570	30.0%	2,736	18.0%	141	125	227	155	124	142	104	1,018	22.3%
小計	92,215	29,045	31.5%	16,734	18.1%	1,066	818	1,380	940	740	715	625	6,284	21.6%

(5) 南区西

高齢化率、後期高齢化率ともに灘崎が34.4%、18.7%と最も高い。一方で、福田がともに最も低い。

認定率は灘崎が21.4%と最も高く、次いで藤田、興除が高い。一方、妹尾が20.0%と最も低い。

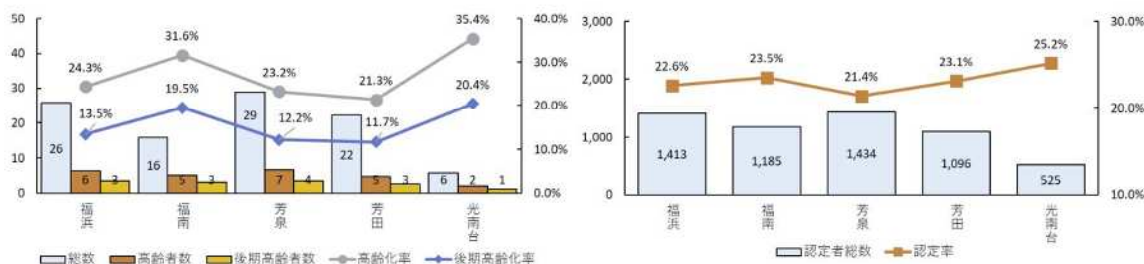


圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)								認定率 (%)
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
妹尾	13,378	4,037	30.2%	2,170	16.2%	115	84	202	132	121	98	55	807	20.0%
福田	12,150	3,126	25.7%	1,665	13.7%	100	62	144	124	88	74	47	639	20.4%
興除	13,733	4,325	31.5%	2,347	17.1%	135	92	212	160	121	99	79	898	20.8%
藤田	12,831	3,926	30.6%	2,070	16.1%	141	103	210	130	93	96	62	835	21.3%
灘崎	14,865	5,108	34.4%	2,782	18.7%	162	118	238	198	161	127	88	1,092	21.4%
小計	66,957	20,522	30.6%	11,034	16.5%	653	459	1,006	744	584	494	331	4,271	20.8%

(6) 南区南

高齢化率、後期高齢化率ともに光南台が35.4%、20.4%と最も高い。一方、芳田がともに最も低い。

認定率は光南台が25.2%と最も高く、次いで福南、芳田が高い。一方、芳泉が21.4%と最も低い。



圏域 (中学校区)	総数	高齢者 (65歳以上)		後期高齢者 (75歳以上)		要介護認定者 (人)								認定率 (%)
		人口 (人)	構成比 (%)	75歳以上	構成比	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
福浜	25,698	6,254	24.3%	3,457	13.5%	220	197	254	279	173	164	126	1,413	22.6%
福南	15,945	5,041	31.6%	3,104	19.5%	186	172	240	183	156	139	109	1,185	23.5%
芳泉	28,902	6,706	23.2%	3,518	12.2%	192	201	278	284	192	176	111	1,434	21.4%
芳田	22,205	4,740	21.3%	2,592	11.7%	130	159	239	226	142	96	104	1,096	23.1%
光南台	5,891	2,087	35.4%	1,203	20.4%	60	66	95	106	73	62	63	525	25.2%
小計	98,641	24,828	25.2%	13,874	14.1%	788	795	1,106	1,078	736	637	513	5,653	22.8%

※総数：令和5年9月末住民基本台帳人口 要介護認定者数：令和5年9月末岡山市介護認定データ（第1号被保険者のみ）
 ※高齢化率：総数に占める65歳以上人口の割合 後期高齢化率：総数に占める75歳以上人口の割合

(7) 介護施設等の整備状況

【日常生活圏域(中学校区)別の介護施設等の整備状況(指定事業所数のみ)】

福祉区	中学校区	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	福祉用具貸与	特定福祉用具販売	居宅介護支援事業者	
1	北区中央 (7)	1 岡山中央	10	0	6	0	6	5	2	2	2	2	2	13
		2 岡輝	13	0	4	0	7	3	2	2	0	1	1	8
		3 桑田	19	1	10	0	6	4	3	2	1	5	5	17
		4 岡北	7	0	3	0	4	4	0	2	0	1	1	5
		5 石井	13	0	6	0	9	3	2	3	0	0	0	11
		6 御南	15	0	7	0	6	9	3	1	0	3	3	11
		7 吉備	5	1	1	0	6	7	2	2	0	1	1	6
2	北区北 (7)	8 京山	3	0	4	0	4	3	2	2	3	0	0	4
		9 中山	6	0	1	1	7	2	4	1	2	0	0	6
		10 香和	4	0	2	1	3	1	1	4	1	0	0	3
		11 高松	4	0	2	1	4	3	4	2	2	0	0	5
		12 足守	0	0	0	0	2	0	3	3	3	0	0	3
		13 御津	1	0	1	0	1	6	1	3	0	0	0	5
		14 建部	2	0	1	1	4	1	1	3	1	0	0	6
3	中 (6)	15 東山	4	0	6	0	5	3	1	1	0	1	1	5
		16 操山	9	0	6	0	8	5	2	2	0	2	2	14
		17 高島	5	0	1	1	5	4	4	4	0	1	1	3
		18 操南	5	0	6	0	4	3	3	2	1	1	1	8
		19 富山	2	0	2	0	3	3	0	2	0	0	0	4
		20 竜操	10	0	4	0	6	8	3	2	1	1	1	11
4	東 (6)	21 旭東	4	1	1	0	8	3	2	2	1	0	0	4
		22 上南	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2
		23 西大寺	11	0	7	0	5	8	3	2	4	2	2	11
		24 山南	2	0	0	0	3	1	2	2	1	0	0	3
		25 上道	4	0	1	0	4	2	1	2	0	0	0	9
		26 瀬戸	5	0	3	1	4	0	2	2	1	0	0	6
5	南区西 (5)	27 福田	3	0	2	0	1	4	3	2	1	0	0	4
		28 妹尾	1	0	6	1	3	2	1	2	1	1	1	4
		29 興除	1	0	1	1	3	2	3	2	1	0	0	4
		30 藤田	4	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	4
		31 灘崎	1	0	2	0	3	3	2	1	1	1	1	4
6	南区南 (5)	32 福浜	11	2	5	0	7	8	0	3	0	1	1	3
		33 芳泉	14	1	1	0	6	6	0	2	0	3	3	9
		34 福南	3	0	4	0	2	2	3	1	3	2	2	5
		35 芳田	13	0	7	0	10	7	1	3	0	8	7	11
		36 光南台	2	0	0	0	2	2	0	3	0	0	0	2
合計		216	6	115	8	163	129	67	76	31	38	37	233	

福祉区		中学校区		介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	特定施設入居者生活介護	認知症対応型共同生活介護	介護看護	定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
1	北区中央 (7)	1	岡山中央	1	0	2	0	0	3	1	1	0	0	1	0	
		2	岡輝	2	0	0	0	1	1	4	0	0	1	1	0	
		3	桑田	1	1	1	0	0	3	3	1	0	1	3	0	
		4	岡北	1	1	0	0	0	1	4	1	0	0	2	0	
		5	石井	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	6	1	
		6	御南	1	1	0	0	0	3	4	1	0	1	2	0	
		7	吉備	1	1	0	0	0	2	5	1	0	0	4	1	
2	北区北 (7)	8	京山	1	1	1	0	1	2	2	0	0	1	3	0	
		9	中山	0	1	2	0	0	0	5	1	0	0	1	0	
		10	香和	2	1	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	
		11	高松	1	1	2	0	0	0	5	1	0	0	5	0	
		12	足守	2	1	2	1	0	1	4	0	0	0	1	0	
		13	御津	2	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	
		14	建部	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	
3	中 (6)	15	東山	0	1	0	0	0	2	4	0	0	0	1	1	
		16	操山	0	1	0	0	0	4	3	1	0	2	1	0	
		17	高島	1	2	0	0	0	2	3	1	0	1	2	0	
		18	操南	1	1	1	0	1	0	3	0	0	3	3	0	
		19	富山	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0	
		20	竜操	1	1	1	0	0	1	3	0	0	0	3	0	
4	東 (6)	21	旭東	1	1	1	0	0	0	4	0	0	1	0	0	
		22	上南	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	
		23	西大寺	1	1	3	0	1	6	4	1	0	0	3	0	
		24	山南	2	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	
		25	上道	2	1	0	0	0	2	6	1	0	1	2	0	
		26	瀬戸	1	1	1	0	0	1	5	0	0	0	2	0	
5	南区西 (5)	27	福田	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	
		28	妹尾	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	
		29	興除	1	1	1	0	0	3	3	0	0	0	2	0	
		30	藤田	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	
		31	灘崎	1	0	1	0	0	0	6	2	0	0	1	0	
6	南区南 (5)	32	福浜	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	
		33	芳泉	1	1	0	0	0	2	3	0	0	3	5	0	
		34	福南	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	2	0	
		35	芳田	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	
		36	光南台	1	1	0	0	0	1	4	0	0	1	1	0	
合計				36	33	25	1	4	48	117	13	0	19	71	4	

※令和5年(2023年)12月1日時点 担当課調べ
※予防サービス含む

4 高齢者実態把握調査の結果について

本計画策定の基礎資料とするため、「岡山市高齢者実態把握調査」を以下のとおり実施しました。

種別	調査対象	
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	令和4年(2022年)7月31日現在、65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者と要支援1・2の認定を受けている高齢者	4,529件
在宅介護実態調査	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている高齢者のうち、認定更新申請に基づき、実施期間中に認定調査を行った者	699件
在宅生活改善調査	市内の居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所	182件
居所変更実態調査	居住系介護サービス提供事業所・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	289件
介護人材実態調査	サービス提供事業所・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	836件

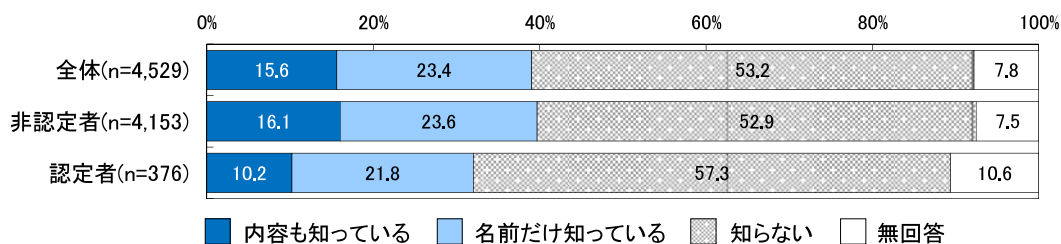
(1) フレイル予防について

① フレイル(虚弱)やフレイル予防について

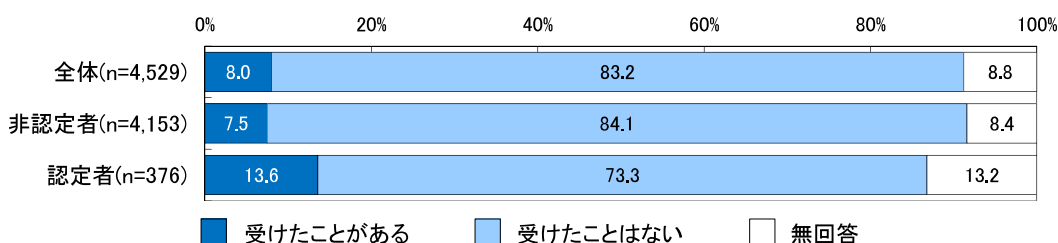
フレイルの認知度について、「内容も知っている」と回答した人の割合が全体で15.6%、非認定者で16.1%、認定者で10.2%となっています。

生活機能評価を受けた経験の有無について、「受けたことがある」と回答した人の割合が全体で8.0%、非認定者で7.5%、認定者で13.6%となっています。

【フレイルの認知度(認定状況別)】



【生活機能評価を受けた経験の有無(認定状況別)】



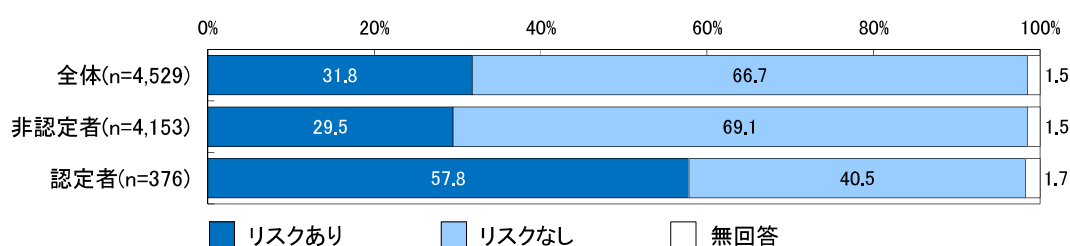
② 転倒リスク

過去一年間に転んだ経験があるかという問いに対して、「何度もある」もしくは「1度ある」という回答を選択した人が、転倒リスクが高い人に該当します。

転倒リスクが高い人の割合が全体で31.8%、非認定者で29.5%、認定者で57.8%となっています。

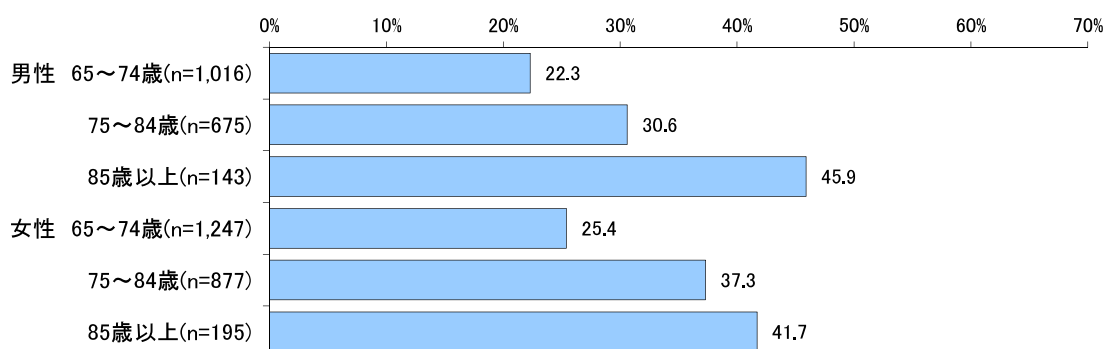
性・年齢別にみると、転倒リスクが高い人の割合は、非該当者では、男女ともに年齢が上がるほど高く、85歳以上で4割台となっています。また、該当者では、男性75～84歳で6割台後半となっています。

【転倒リスク(認定状況別)】

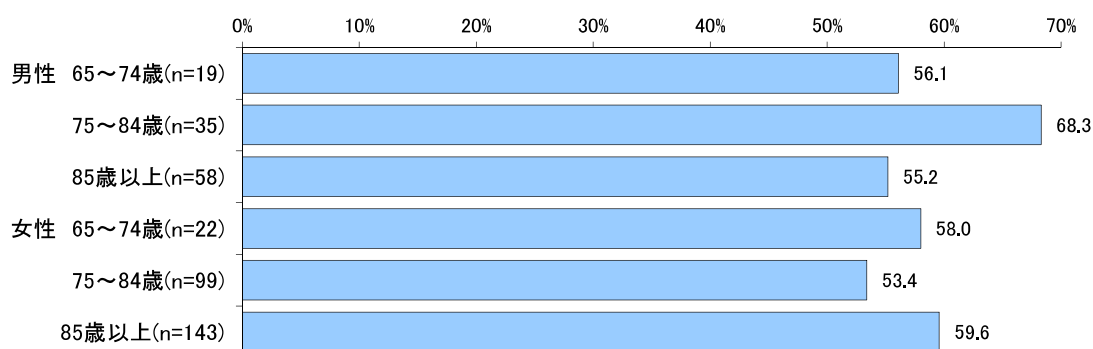


【転倒リスク(性・年齢別)】

(非認定者)



(認定者)

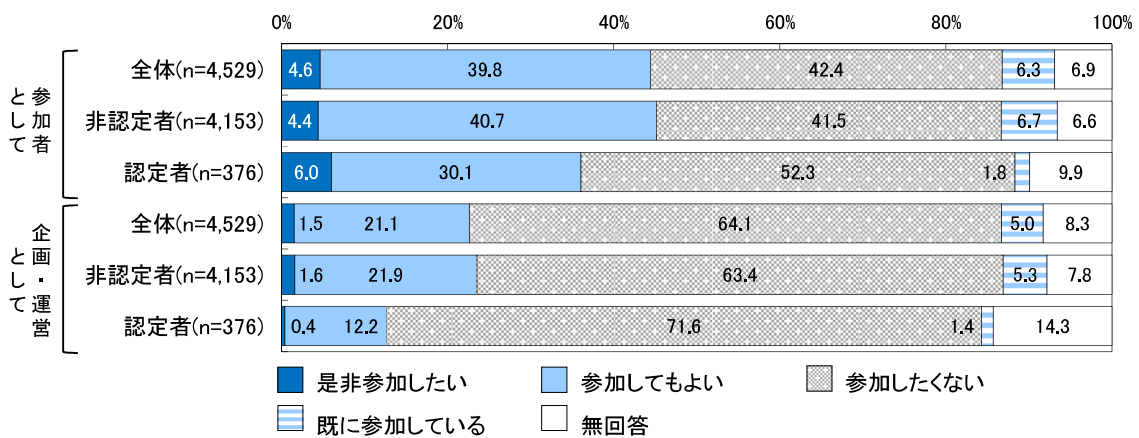


(2) 地域づくり・社会参加について

① いきいきとした地域づくりについて

地域活動に、参加者として「既に参加している」と回答した人の割合は全体で6.3%にとどまっていますが、「参加したい」（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）と回答した人の割合は全体で44.4%、非認定者で45.1%、認定者で36.1%、企画・運営として「参加したい」（「是非参加したい」＋「参加してもよい」）と回答した人の割合は全体で22.6%、非認定者で23.5%、認定者で12.6%となっています。

【地域活動への参加意向(認定状況別)】

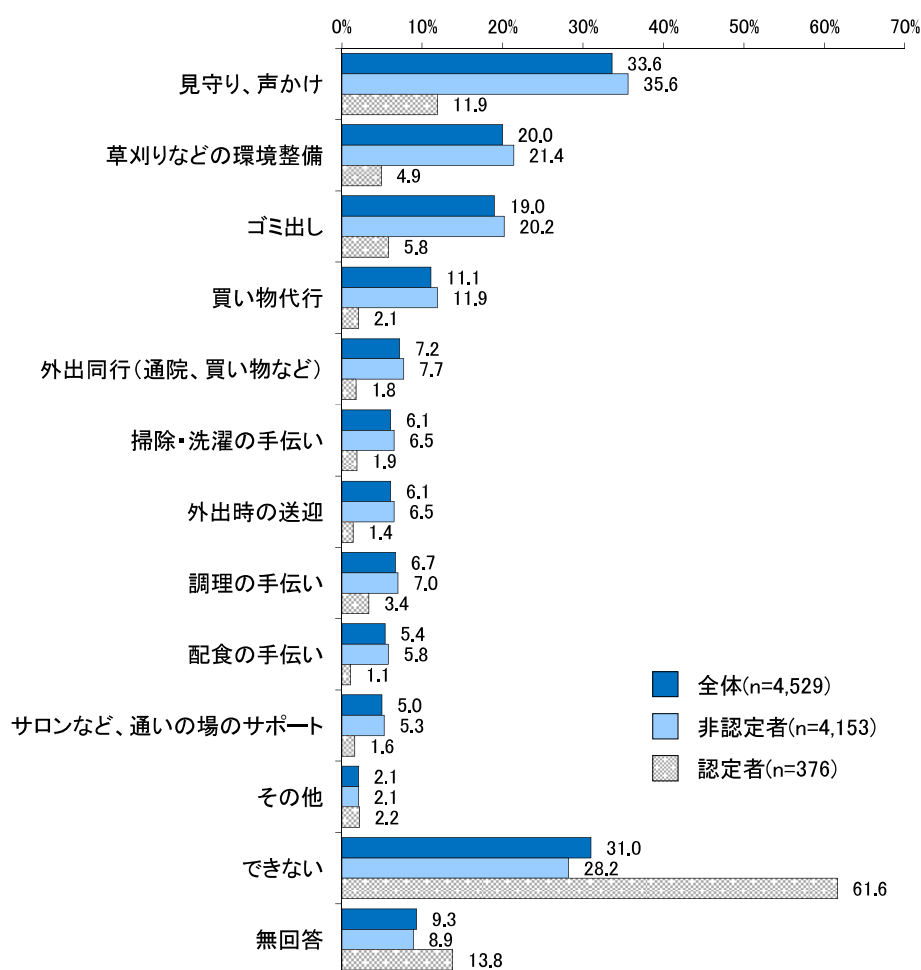


② 自分ができる地域の支え合い活動について

自分ができる地域の支え合い活動について、全体では、「見守り、声かけ」と回答した人の割合が33.6%と最も高く、「草刈りなどの環境整備」(20.0%)、「ゴミ出し」(19.0%)が続いています。

また、非認定者では、「見守り、声かけ」と回答した人の割合が最も高く、次いで「草刈りなどの環境整備」となっており、認定者では、「見守り、声かけ」と回答した人の割合が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

【自分ができる地域の支え合い活動(認定状況別)】

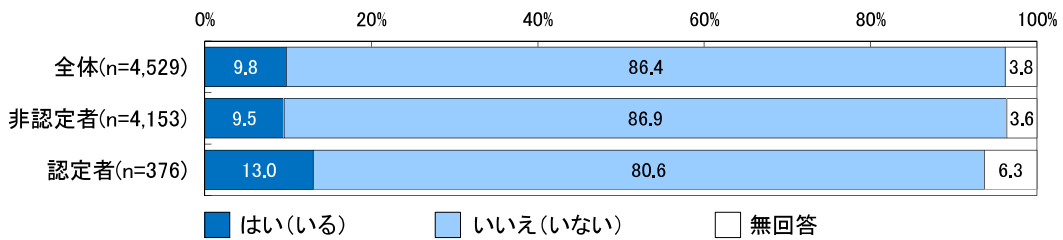


(3) 認知症について

① 本人または家族で認知症の症状がある人の有無

本人または家族で認知症の症状がある人の有無について、「はい（いる）」と回答した人の割合が全体で9.8%、非認定者で9.5%、認定者で13.0%となっています。

【本人または家族で認知症の症状がある人の有無(認定状況別)】

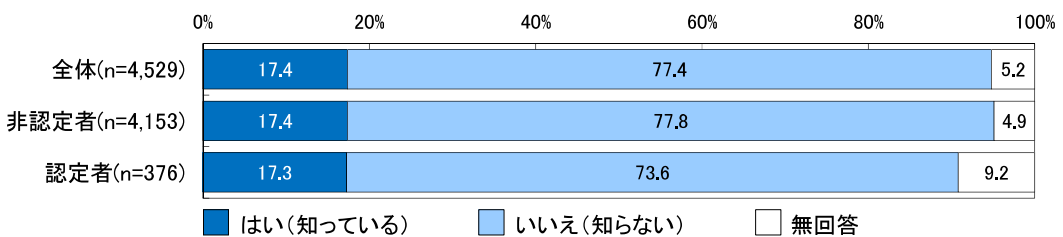


② 認知症に関する相談窓口の認知度

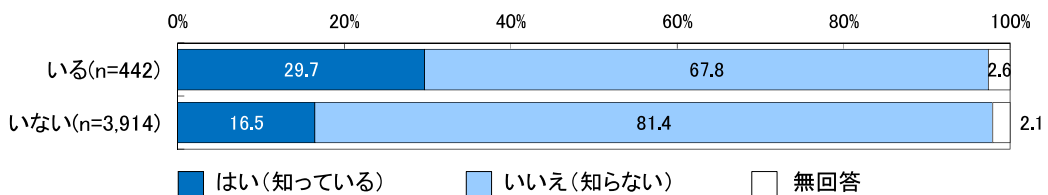
認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい（知っている）」と回答した人の割合が全体で17.4%、非認定者で17.4%、認定者で17.3%となっています。

本人または家族で認知症の症状がある人の有無別にみると、「はい（知っている）」と回答した人の割合は、本人または家族で認知症の症状がある人がいる層で高く、約3割となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度(認定状況別)】



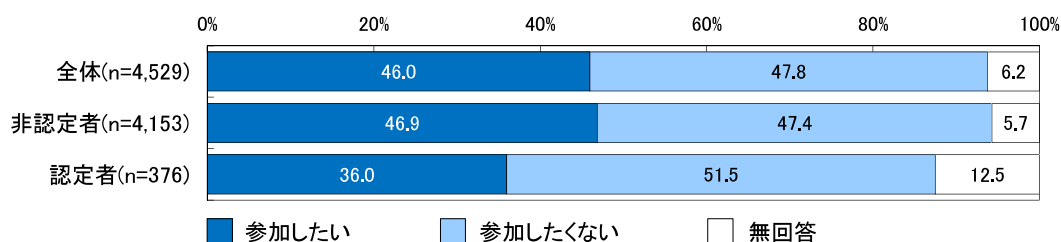
【認知症に関する相談窓口の認知度(本人または家族で認知症の症状がある人の有無別)】



③ 認知症に関する学習の場への参加意向

認知症に関する学習の場への参加意向について、「参加したい」と回答した人の割合が全体で46.0%、非認定者で46.9%、認定者で36.0%となっています。

【認知症に関する学習の場への参加意向(認定状況別)】



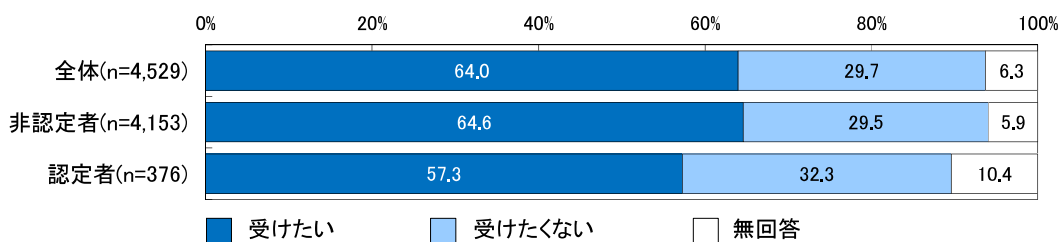
④ 認知症を早期に発見できる検査の受診意向

認知症を早期に発見できる検査の受診意向について、「受けたい」と回答した人の割合が全体で64.0%、非認定者で64.6%、認定者で57.3%となっています。

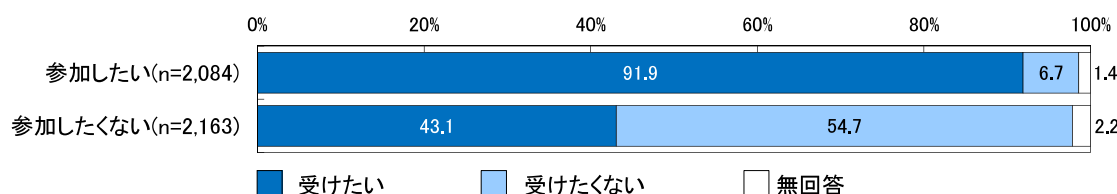
また、認知症に関する学習の場へ参加したいと考える人の約9割は「検査を受けたい」と回答しています。

一方、認知症を早期に発見できる検査を受けたくない理由について、「わかってもどうしようもないと思うから」と回答した人の割合が60.8%となっています。

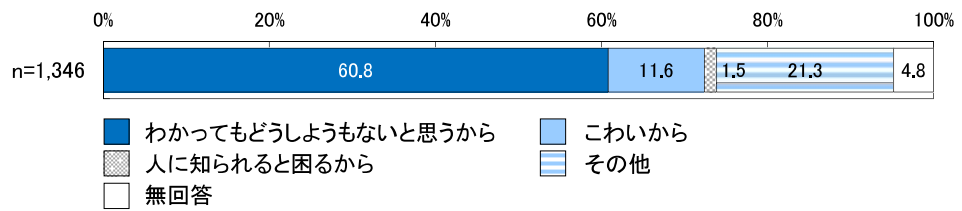
【認知症を早期に発見できる検査の受診意向(認定状況別)】



【認知症を早期に発見できる検査の受診意向(認知症に関する学習の場への参加意向別)】



【認知症を早期に発見できる検査を受けたくない理由】



⑤ 認知機能の低下と通いの場への参加頻度

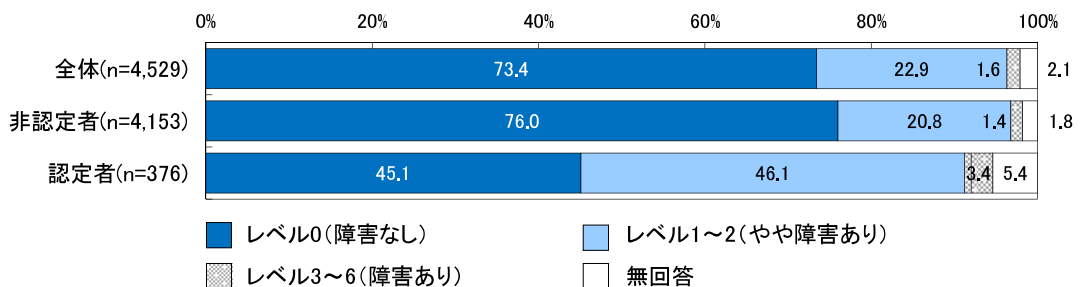
認知症CPS判定について、「レベル0（障害なし）」に該当する人の割合が73.4%、「レベル1～2（やや障害あり）」に該当する人の割合が22.9%、「レベル3～6（障害あり）」に該当する人の割合が1.6%となっています。

また、認定状況別にみると、「レベル1～2（やや障害あり）」に該当する人の割合は、非認定者で20.8%、認定者で46.1%、「レベル3～6（障害あり）」に該当する人の割合は、非認定者で1.4%、認定者で3.4%となっています。

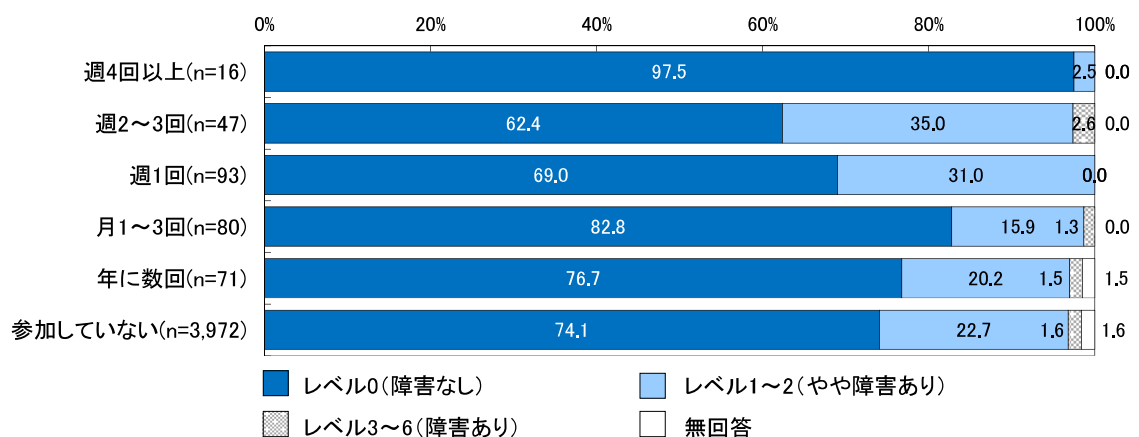
介護予防のための通いの場への参加頻度別にみると、「レベル1以上」に該当する人の割合は、参加頻度が週3回以下の人で高くなっています。

※認知症CPS・・・認知症の障害程度の指標、0～6の7段階で測りレベル1以上でリスクありとなる

【認知症CPS判定(認定状況別)】



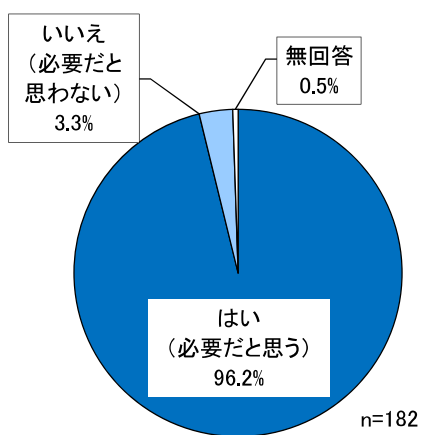
【認知症CPS判定(介護予防のための通いの場への参加頻度別)】



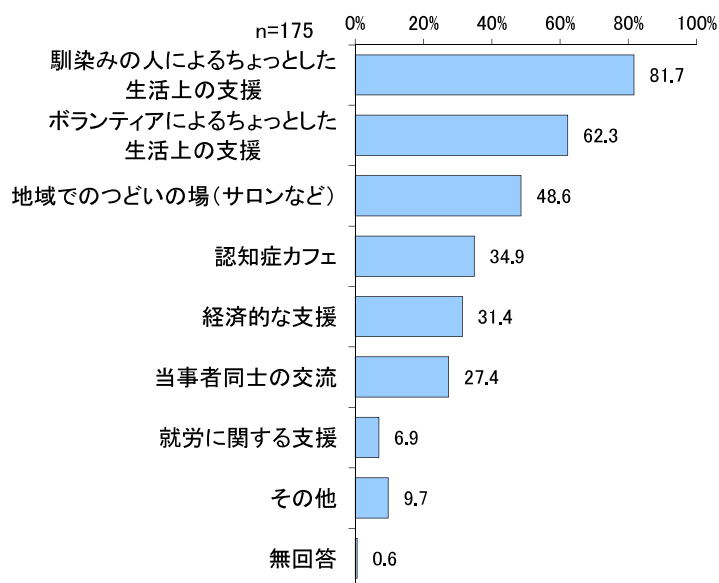
⑥ 認知症支援に必要な介護保険サービス以外の資源

認知症の人の支援にあたり介護保険サービス以外の資源の必要性の有無について、「はい（必要だと思う）」と回答した事業所の割合が96.2%となっており、必要な資源の具体的内容としては、「馴染みの人によるちょっとした生活上の支援」が81.7%と最も高く、次いで「ボランティアによるちょっとした生活上の支援」62.3%、「地域でのつどいの場（サロンなど）」48.6%となっています。

【認知症の人の支援にあたり介護保険サービス以外の資源の必要性の有無】



【介護保険サービス以外に必要な資源の具体的内容】



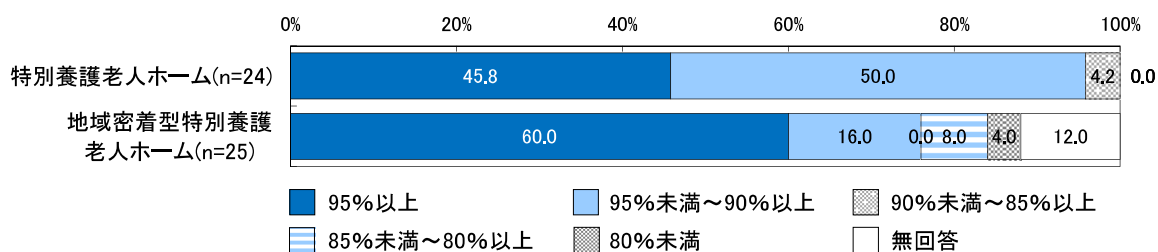
(4) 特別養護老人ホーム整備について

① 施設の利用率

令和3年度（2021年度）における、ベッドの利用率（年間延べ利用者数/年間延べ定員数×100）は、特別養護老人ホームにおいては、全施設で85%以上になっています。

地域密着型特別養護老人ホームにおいては、「85%未満～80%以上」が8.0%、「80%未満」が4.0%となっていて、比較するとやや地域密着型特別養護老人ホームがベッドの利用率が低い状況です。

【ベッドの利用率(施設種別)】

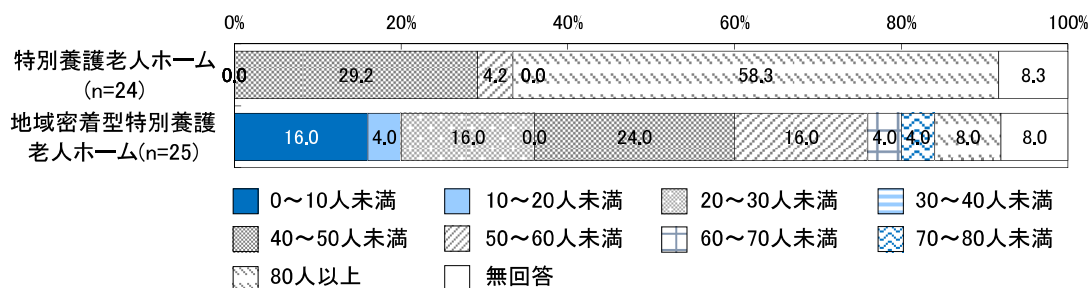


② 待機者数

待機者数は、施設種別にみると、地域密着型特別養護老人ホームより特別養護老人ホームで多くなっており、「80人以上」が半数以上を占めています。地域密着型特別養護老人ホームでは、「40～50人未満」が最も高く、24.0%となっています。

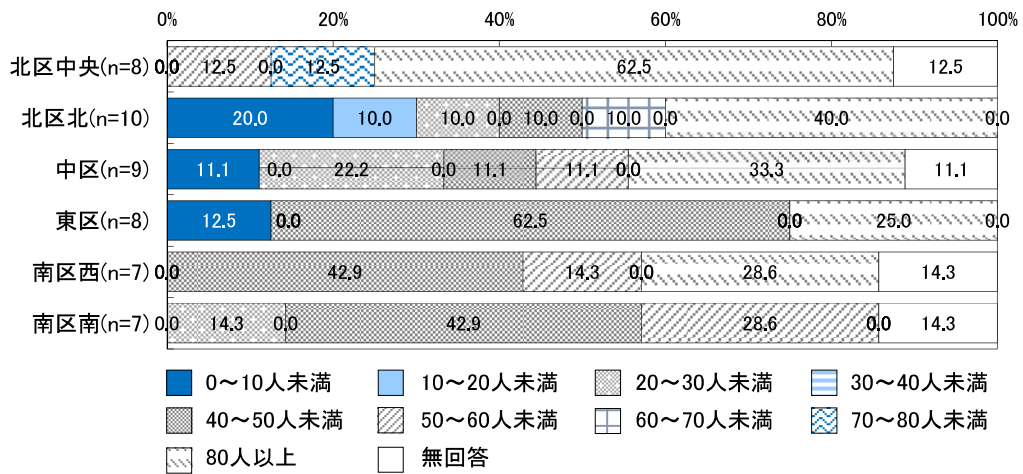
福祉区別にみると、「80人以上」は北区中央で高く、62.5%となっています。

【待機者数(施設種別)】



【待機者数(福祉区別)】

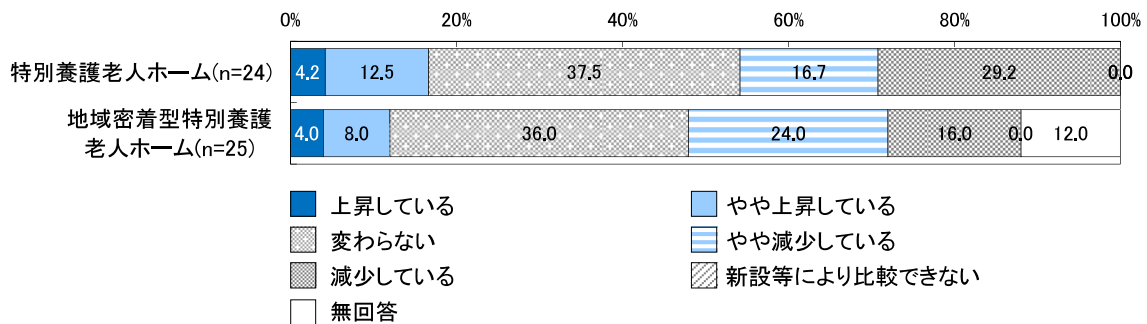
※特別養護老人ホーム(地域密着型含む)のみ



③ 待機者数の変化

1年前と比べた待機者数の変化について、施設種別にみると、「上昇している」(「上昇している」+「やや上昇している」と回答した事業所の割合は、特別養護老人ホームで16.7%、地域密着型特別養護老人ホームで12.0%、「減少している」(「減少している」+「やや減少している」と回答した事業所の割合は、特別養護老人ホームで45.9%、地域密着型特別養護老人ホームで40.0%となっています。

【1年前と比べた待機者数の変化(施設種別)】

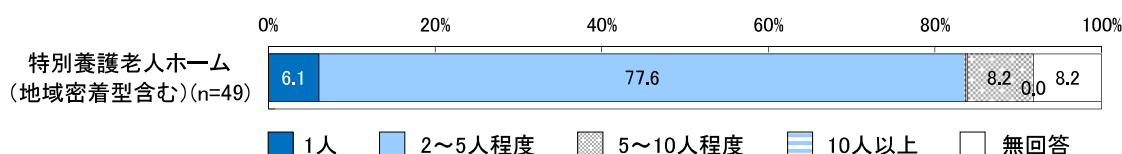


④ 待機者への入所打診数

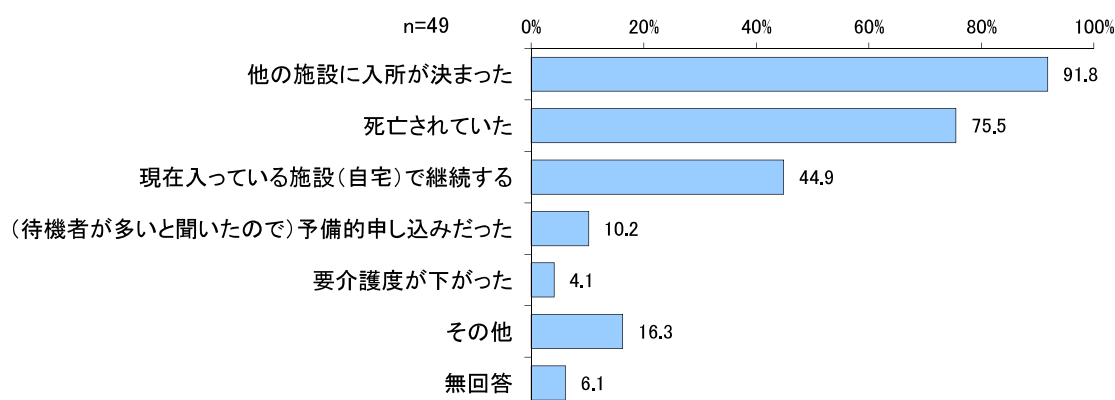
ベッドに空きができてから入所者が決まるまでに声をかけた待機者数について、「1人」と回答した事業所の割合が6.1%、「2～5人程度」と回答した事業所の割合が77.6%となっています。

待機者が入所を断る理由について、「他の施設に入所が決まった」と回答した事業所の割合が91.8%と最も高く、「死亡されていた」(75.5%)、「現在入っている施設(自宅)で継続する」(44.9%)が続いています。

【ベッドに空きができてから入所者が決まるまでに声をかけた待機者数】



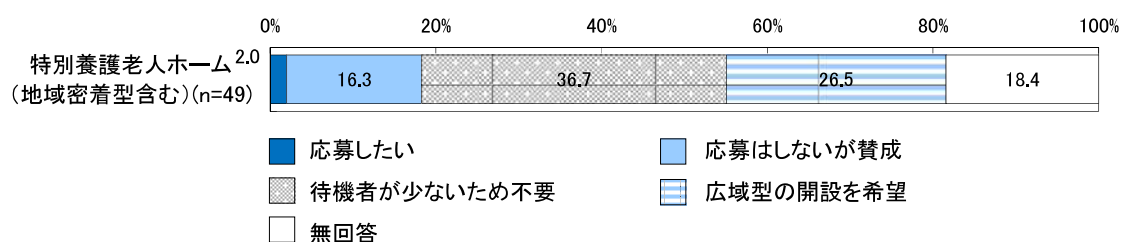
【待機者が入所を断る理由(特別養護老人ホーム(地域密着型含む))】



⑤ 特別養護老人ホーム(地域密着型含む)の建設について

地域密着型特別養護老人ホームの開設意向について、「応募したい」と回答した事業所の割合が2.0%、「応募はしないが賛成」と回答した事業所の割合が16.3%となっています。

【地域密着型特別養護老人ホームの開設意向】

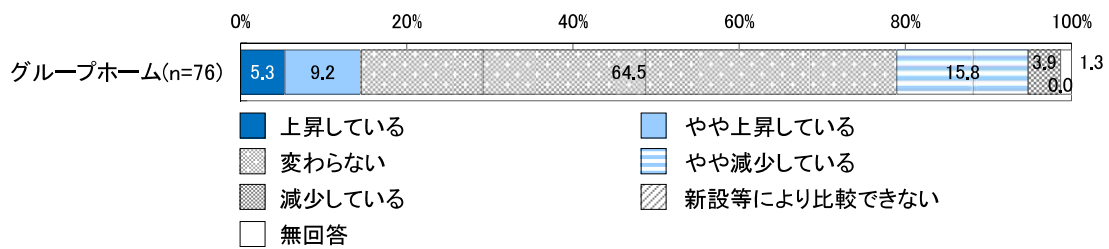


(5) グループホームの整備について

① 施設の利用率

1年前と比べた利用率の変化について、「変わらない」と回答した事業所の割合が全体で64.5%となっていますが、「減少している」（「減少している」＋「やや減少している」）と回答した事業所の割合も19.7%となっています。

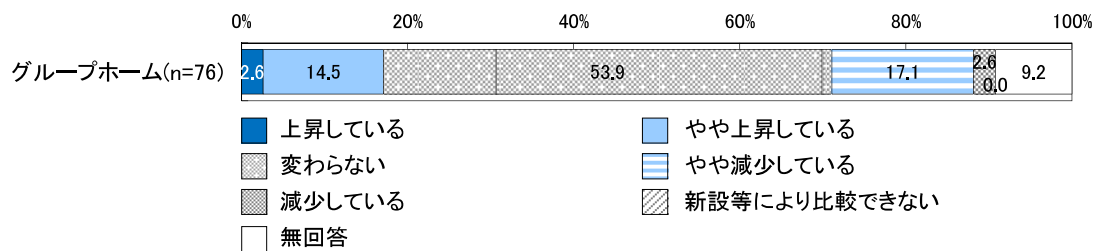
【1年前と比べた利用率の変化】



② 待機者数の変化

1年前と比べた待機者数の変化について、「変わらない」と回答した事業所の割合が全体で53.9%となっていますが、「減少している」（「減少している」＋「やや減少している」）と回答した事業所の割合も19.7%となっています。

【1年前と比べた待機者数の変化】

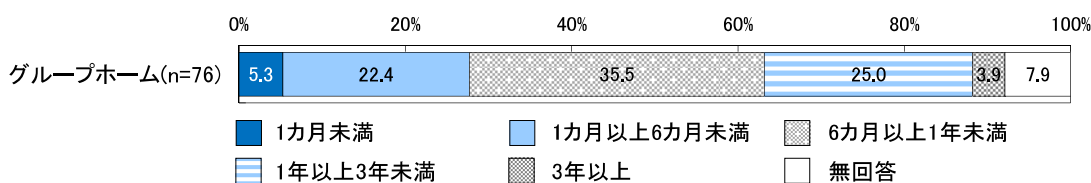


③ 待機者の平均待機期間

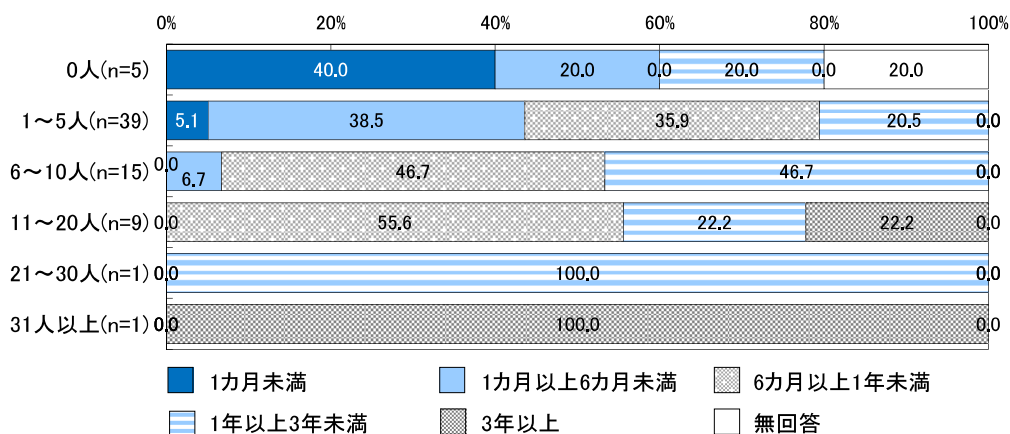
令和4年（2022年）4月1日現在の待機者の平均待機期間について、「1年以上」（「1年以上3年未満」＋「3年以上」）と回答した事業所の割合が28.9%となっています。

待機者数別にみると、「1年以上」（「1年以上3年未満」＋「3年以上」）と回答した事業所の割合は、待機者数が増加するほど高くなっています。

【待機者の平均待機期間】



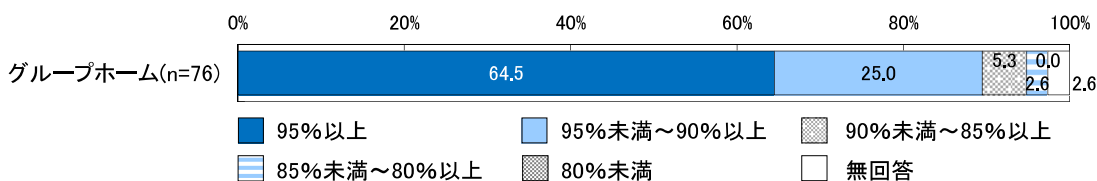
【待機者の平均待機期間(待機者別)】 ※グループホームのみ



④ 稼働率

令和3年度（2021年度）におけるベッドの利用率について、「95%以上」と回答した事業所の割合は、64.5%となっています。

【ベッドの利用率】



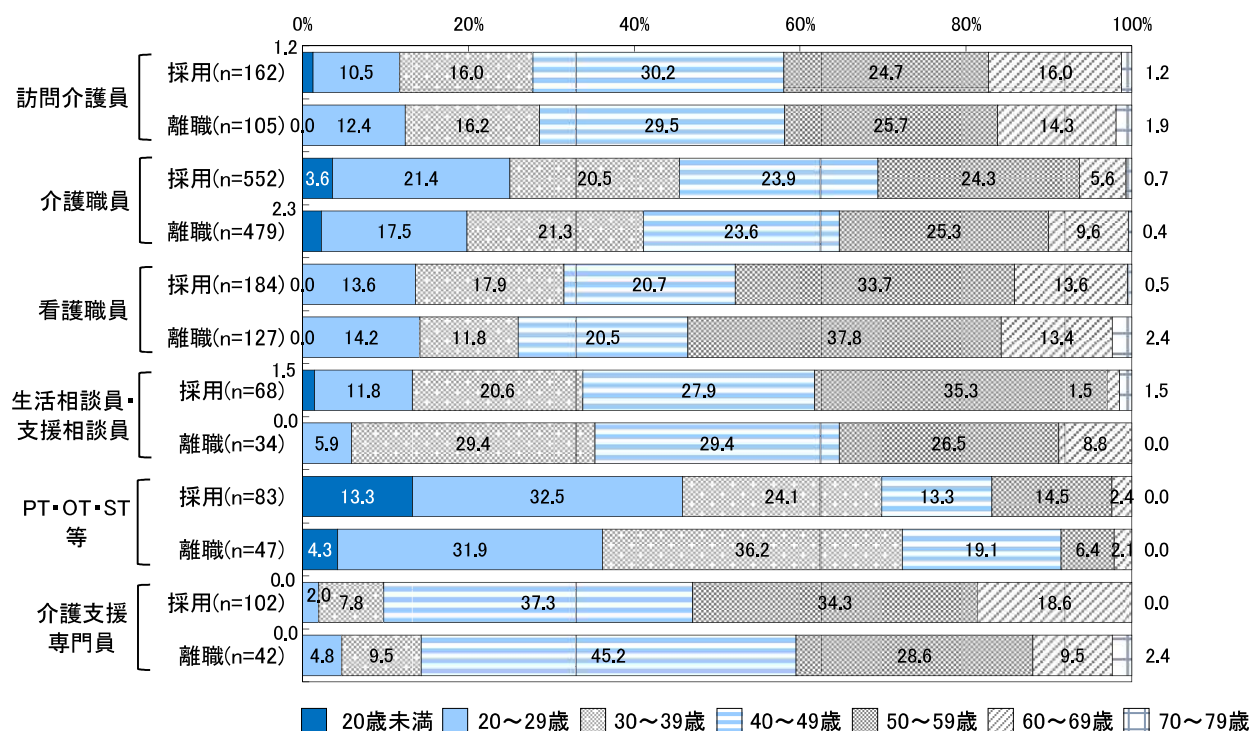
(6) 介護人材について

① 採用者と離職者について

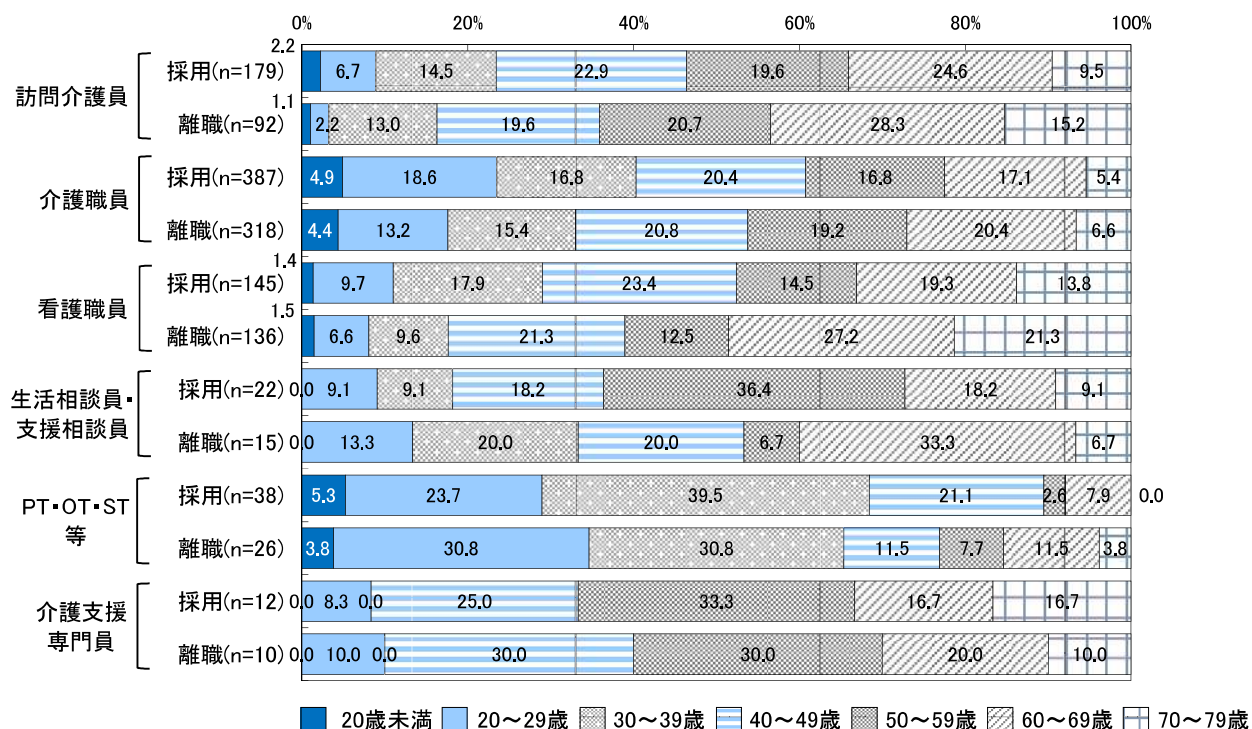
正規職員について、採用者、離職者ともに看護職員の50歳以上で高くなっています。

非正規職員について、採用者では、生活相談員・支援相談員の50歳以上で、離職者では訪問介護員、看護職員の50歳以上で高くなっています。

【令和3年(2021年)4月～令和4年(2022年)3月の間に採用及び離職した正規職員】



【令和3年(2021年)4月～令和4年(2022年)3月の間に採用及び離職した非正規職員】



介護人材実態調査に回答のあった836のサービス提供事業所等の事業者において、令和3年度（2021年度）中の採用者と離職者を比べると、勤務者が503名増加しています。

【令和3年(2021年)4月～令和4年(2022年)3月の間に採用及び離職した職員】

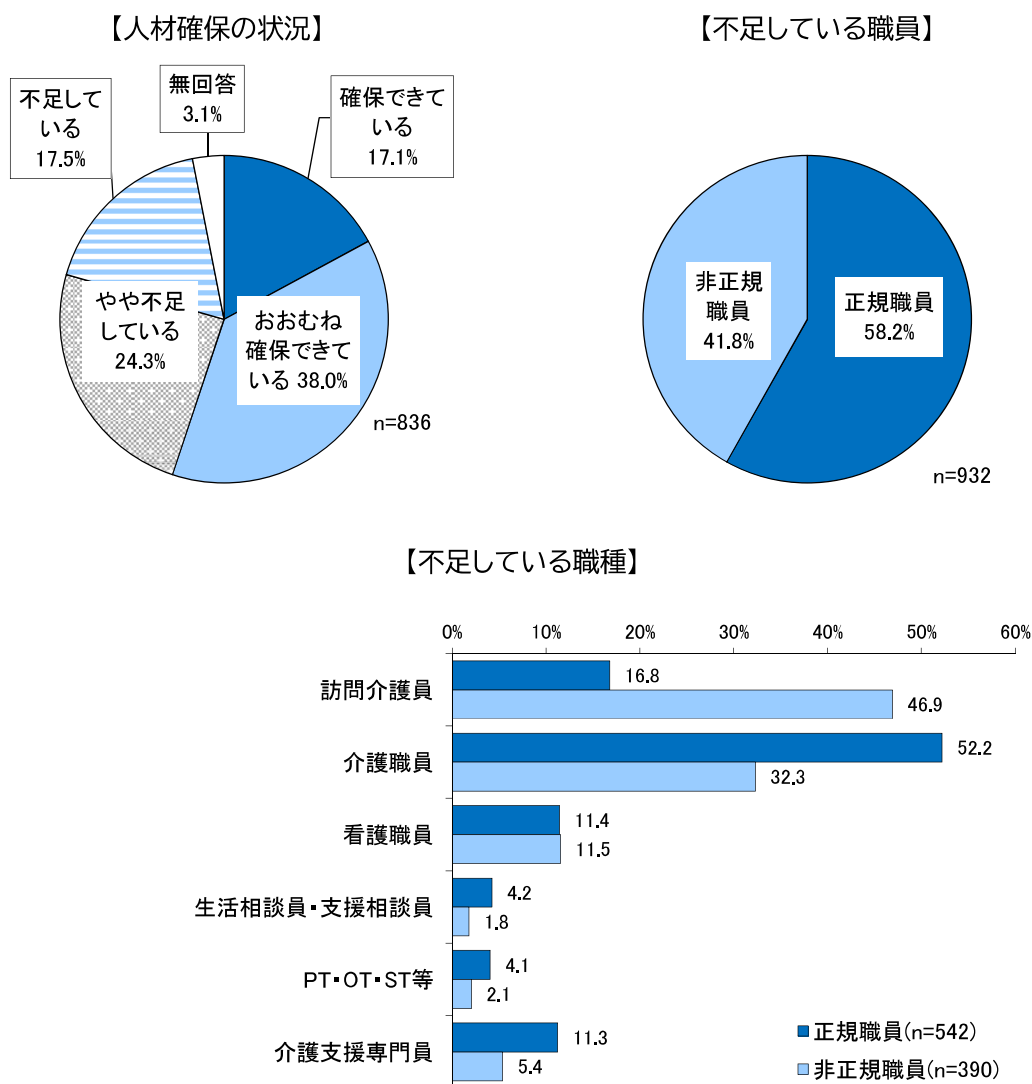
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	計
全採用	61	307	348	456	441	251	70	1,934
	3.2%	15.9%	18.0%	23.6%	22.8%	13.0%	3.6%	100.0%
全離職	31	198	250	330	323	224	75	1,431
	2.2%	13.8%	17.5%	23.1%	22.6%	15.7%	5.2%	100.0%

② 不足業種について

人材確保の状況について、「確保できている」（「確保できている」＋「おおむね確保できている」と回答した事業所の割合が55.1%、「不足している」（「不足している」＋「やや不足している」と回答した事業所の割合が41.8%となっています。

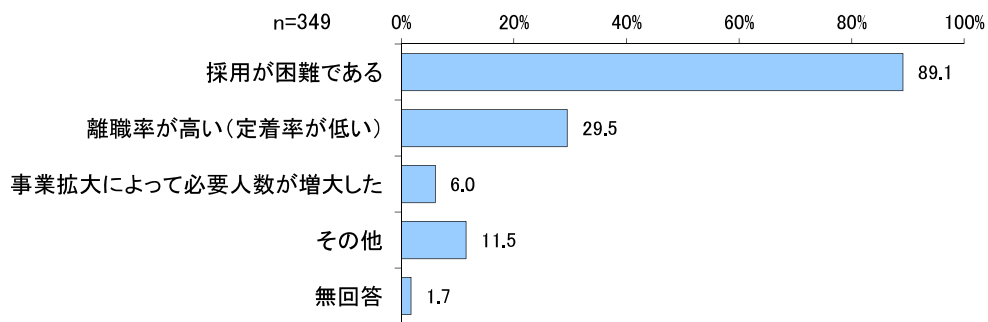
不足している職員は、正規職員が58.2%、非正規職員が41.8%となっています。

不足している職種は、正規職員では「介護職員」が52.2%、非正規職員では「訪問介護員」が46.9%で上位となっています。

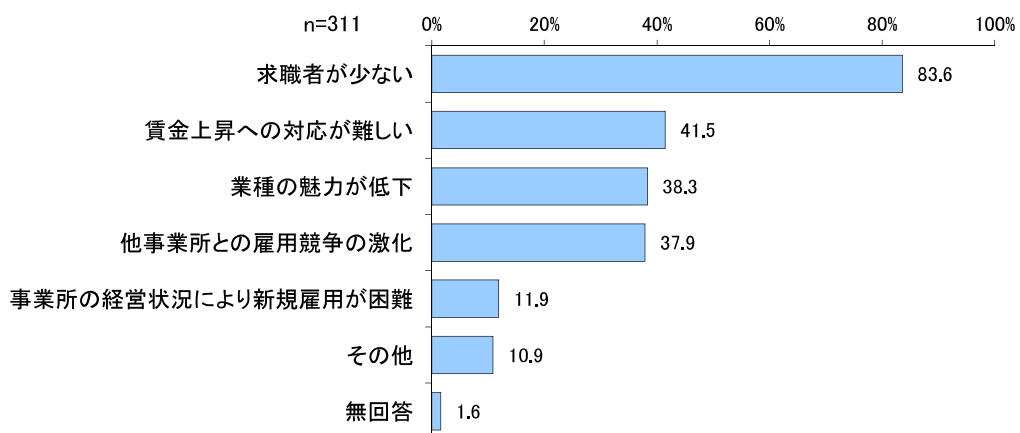


人材が不足している理由について、「採用が困難である」と回答した事業所の割合が89.1%と最も高く、採用が困難な理由として、「求職者が少ない」と回答した事業所の割合が83.6%と最も高く、次いで「賃金上昇への対応が難しい」(41.5%)となっています。

【人材が不足している理由】



【採用が困難な理由】



③ 離職するまでの勤務年数について

離職者の勤務年数について、「1年以内」の割合が36.1%、次いで「2年以内」の割合が17.7%となっています。

【離職者の勤務年数】

